真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	交通安全対策推進事業	担当課・係	市民生活部　くらし安全課　交通防犯係
政策名　No	5　「環境づくり」～安全なまちアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	5　交通安全の推進		

成果指標	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
	交通事故発生件数	件	105					130
	交通事故死亡者数	人	4					0

事業内容

・交通教育指導員（会計年度任用職員）による交通安全教室及び啓発活動の実施
　【令和６年度交通安全教室実施状況】
　幼稚園、保育所、認定こども園　　８１回
　小・中学校　　２６回
　高齢者向け教室　　２５回
　日本語学校　　４回
　子育て支援センター親子教室等　　１３回
・警察及び関係団体と連携した啓発活動の実施
・交通安全県民総ぐるみ運動期間中における街頭指導（春・秋・年末）
・高齢者運転免許証自主返納支援事業の実施
・交通安全市民大会の開催
・小学生を対象とした交通安全作文及び標語募集
・小学生から保護者に対する交通安全レター作戦の実施

前年度の課題（Check）

交通安全教室を実施することにより、交通安全に対する意識の向上が図られた。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業

・交通教育指導員（会計年度任用職員）による交通安全教室及び啓発活動の実施
　幼稚園、保育所、認定こども園　　８２回
　小・中学校　　２２回
　高齢者向け教室　　１６回
　日本語学校　　０回
　子育て支援センター親子教室等　　１６回
・警察及び各交通安全団体と連携した啓発活動の実施
・交通安全県民総ぐるみ運動期間中における街頭指導（春・秋・年末）
・高齢者運転免許証自主返納支援事業の実施
・交通安全市民大会の開催
・小学生を対象とした交通安全作文及び標語募集
・小学生から保護者に対する交通安全レター作戦の実施

【２】結果と課題（Check）

・交通安全の推進には、継続した啓発が必要であることから、引き続き警察や関係団体と連携し、交通安全教室及び啓発活動を行う必要がある。
・高齢者運転免許証自主返納支援事業については、高齢者が運転免許証を自主返納することにより、高齢者を原因とする交通事故防止の効果がある一方、対象者は増加していくことから、事業経費（民間タクシー委託料・通信運搬費）が毎年増加している。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと

引き続き、警察や関係団体と連携し、交通安全教室及び啓発活動を実施する。

（2）長期的な計画で検討すること

・高齢者運転免許証返納支援事業の実施による事業経費の増加を抑えるため、公共交通利用への移行や支援期間の精査の検討をしていく必要である。ただし、支援内容を変えることにより、運転免許証の自主返納者が減少し、高齢者による交通事故が増加することが懸念される。